

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- 高い関心意欲を維持するために英語の曲やゲームなどを取り入れたことは効果があったが、その反面、遊びやレクリエーション感覚のまま終わってしまうことがあった。
- 単元毎の小テストや単語テストに対してはよく学習し、知識理解が高まった。
- リスニングに関しては教室英語の多用や英問英答を繰り返すことによって高まったが、読み取る力に関しては十分に指導することができなかった。
- 表現力(書く・話す)に関しては、毎回短時間であっても繰り返すことで定着していった。

英語科の授業における生徒の様子

観 点 別	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションへの関心・意欲・態度: 小学校で外国語活動をしてきたこともあり、英語の授業に関して関心・意欲が高い生徒は多いと言える。 ○外国語表現の能力: 話すことに関しては積極的に既習事項を用いたり、教科書の内容をまねて伝えようとする生徒が多く見られた。しかし書くことに関しては苦手なのか、なかなか取り組めない生徒が見られた。 ○外国語理解の能力: 聞くことに関しては、教室英語を理解しようとする姿勢がよくみられ、リスニングテストを得意とする生徒も多い。読むことに関しても同様に、良い結果が出ている。 ○言語や文化についての知識・理解: 他国の様子や文化に関しては興味意欲をもって知ろうとする姿勢が見られた。しかし、語彙習得に関しては積極的に取り組む生徒と反復学習を敬遠する生徒と両極端になってきている。
-------------	---

上記に基づいた授業改善のポイント

- 英語に対する高い関心や意欲を維持する
 - わかりやすい授業を心がける。生徒にとって身近な話題を用いて、コミュニケーションが楽しいと思える授業を展開し、英語の必要性を気付かせる。また課題や提出物にしっかり取り組めるように徹底して指導する。
- 表現力を高める
 - 何度も繰り返し伝える機会を増やす。そして伝えたことを書く時間も設定する。学期に1～2回、発表形式のテスト(スピーチや暗唱)を実施する。
- 理解力を高める
 - 授業内で英語を使う機会も多く設定する。口頭での英問英答を取り入れ、英語で答える姿勢を身に付けさせる。リーディングやリスニングのテストを学期に2回程度実施する。
- 文化に関する知識理解を深める
 - 教科書の内容に沿って資料を用意し、外国の文化を紹介したり自国の文化と比較させたりする。また、授業で得た知識を英語で伝えるためには、語彙を増やし、それらをつなげていく文法を身に付けなければならないことを理解させる。

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- 英語の学習に対する意欲・関心が生徒間に差があり、積極的に学習活動に取り組む生徒と授業の取り組みを理解できずに参加できていない生徒がいる。英語での会話表現や、リーディング練習を何度も行うことにより、今後も検証を続けながら、教材を改善、工夫しわかりやすい授業を展開していきたい。
- 本年度は、目標値は上回っているが、全国平均値とはほぼ同じ数値となっている。基礎的な力は身につけており、活用する力もついている。英語に関する知識を活用し、正しい語を使用して答える問題や、読み取りの問題は正答率が高い。
- リスニングに関しては目標値に対して平均的な結果となっている。対話文を聴くことは苦手であるため、授業内で対話文のリスニング問題を扱う必要がある。
- 場面に応じて書く英作文は平均的に得点できているが、まとまった英文を書く問題の正答率が低いため、語彙を活用できるようにする必要がある。

英語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に目標値を上回り、前年度までの学習効果は概ね良好と考えられる。 ○前学年で学習した基礎的な英語表現はほぼ理解しているようであるが、英文を記述で答える問題は正答率が低い。今後、単語テストや英文フレーズを書かせる活動を定期的に入れていきたい。 ○リスニング問題は目標値を超えているが、一部曜日に関する対話を聞き取る問題が適切に解答できていない。問題に慣れさせていきたい。 ○長文読解の問題は、目標値を上回ったものの、内容に関する質問に英語で答える問題に課題があることがわかった。類似問題を解き、問題に慣れさせたい。
観点別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ○「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」については、英作文の問題において目標値を上回ったが、昨年より全体的に差がついた。会話活動から、書く活動につなげ、苦手意識を克服したい。 ○「外国語表現の能力」について、場面に応じて書く英作文、3文以上の英作文では上手く語彙を活用することができておらず、正答率が低かった。自己表現活動、スピーチ活動を通じて、既習事項の定着を今後も進めたい。 ○「外国語理解の能力」について、リスニングでは対話文の聞き取りや適切な応対に課題が残った。授業での会話活動から、リスニングの力を伸ばしていきたい。 ○「言語や文化についての知識・理解」については、外国や日本に対する知識・理解を深めると共に単語や文の構造についての知識を身につける必要がある。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 英語に対する興味・関心を高め、英語学習に対する意欲を向上させる。
 - わかりやすい授業を心がける。授業生徒一人ひとりの実態に合わせて指導を行う。関心を高める。文法導入では、質問や生徒の身近な話題に触れ、関心を高める。宿題やノート・提出物にしっかり取り組めるように徹底して指導する。
 - ペアでの会話練習や音読する機会を増やし積極的に活動出来る場を増やす。
 - オールイングリッシュでの授業を理解できるように言葉を補いながら指導を行う。
- 2 英語の文法やスペリングなどの知識・理解をさらに高める。
 - 語彙力が身につくよう単語テストを行う。既習語彙が何度も出てくるよう、指導を工夫する。
- 3 聞き取り、読み取りの力を伸ばす。
 - 会話活動でのリスニング能力向上のため、会話活動に集中して参加させる。
 - 教室内英語を使用し、英問英答で教科書の内容が答えられるようにする。
 - リーディングは、アクセントや音のつながりなどに注意しながら、繰り返し音読練習させる。
- 4 理解力・表現力を身につける。
 - 教科書の基本文をしっかり理解させるために、文法の構造を丁寧に指導する。
 - 語順に課題が残るため、語順を意識した練習問題を多く解く時間を確保する。またまとまった英文を書けるように自己表現活動を増やす。またインタビューテストや発表(スピーチ等)を行う。
- 5 文化に関する知識理解を深める。
 - 日本や他国の文化に対する知識を深められるよう、教科書の内容に沿って資料を提示する。

英語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- 英語の学習に対する意欲・関心が生徒間に差があり、積極的に学習活動に取り組む生徒と苦手意識のある生徒がいる。反復学習をすることにより、今後も検証を続けながら、教材を改善、工夫しわかりやすい授業を展開していきたい。
- 全体的に目標値を大きく上回り、全体的に基礎的な力は身につく、応用力もみについているようである。しかし単語のスペルを正しく書かせる問題、長文の中で代名詞の内容を理解する問題に関して、復習する必要がある。
- リスニングに関しては目標値を上回っているが対話の内容を聞き取り、資料をもとに答える問題の正答率が低い。授業内で対話文のリスニング問題や、英文を聞いて英語で答える問題を扱う必要がある。
- 場面に応じて書く英作文、英語でたずねる文を書く問題は正答率が高かった。新出文法事項ごとに、自己表現活動を行った成果、質問を繰り返し練習した結果である。

英語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に目標値を上回り、前年度までの学習効果は概ね良好と考えられる。 ○前学年で学習した基礎的な英語表現はほぼ理解しているようであるが、単語を正しく書く練習が必要である。今後、単語テストを定期的に入れ、力を伸ばしていきたい。 ○リスニング問題は目標値を超えているが、対話文の聞き取り、適切に応答する問題に慣れていない面がみられる。 ○長文読解の問題は、目標値を上回ったものの、内容に関する質問に英語で答える問題に課題があることがわかった。類似問題を解き、問題に慣れさせたい。 ○結果分析を見て、昨年度と変わらないことが分かり、苦手分野を克服できていないことがわかったので、2学期に即対策を講じたい。
観点別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ○「外国語表現の能力」について、場面に応じて書く英作文、3文以上の英作文では、大部分において、平均を上回る成果が残せた。特に、英語でたずねる問題では平均を大きく上回った。毎日練習する会話練習の成果が出た。今後も自己表現活動、スピーチ活動を通じて、既習事項の定着を進めたい。 ○「外国語理解の能力」について、リスニングでは対話文の聞き取りや適切な対応に課題が残った。教科書のQA問題や類似問題を練習し、解答に慣れたい。 ○「言語や文化についての知識・理解」については、外国や日本に対する知識・理解を深めると共に単語や文の構造についての知識を身につける必要がある。単語テストを定期的に行っているが、文や単語を書かせる練習を増やしたい。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 英語に対する興味・関心を高め、英語学習に対する意欲を向上させる。
 - わかりやすい授業を心がける。授業は会話のウォーミングアップの会話から始め、発音の指導を行うと共に、関心を高める。文法導入では、質問や生徒の身近な話題に触れ、関心を高める。宿題やノートワークに取り組み、基礎・基本を身に付けさせたい。
 - ペアでの会話練習や音読する機会を増やし積極的に活動出来る場を増やす。
 - オールイングリッシュでの授業でも理解できる素地を作る。
- 2 英語の文法やスペリングなどの知識・理解をさらに高める。
 - 語彙力が身につくよう単語テストを行う。既習語彙が何度も出てくるよう、指導を工夫する。
- 3 聞き取り、読み取りの力を伸ばす。
 - 会話活動でのリスニング能力向上のため、会話活動に集中して参加させる。
- 4 理解力・表現力を身につける。
 - 教科書の基本文をしっかり理解させるために、文法の構造を丁寧に指導する。
 - インタビューテストや発表(スピーチ等)を行う。
- 5 文化に関する知識理解を深める。
 - 日本や他国の文化に対する知識を深められるよう、教科書の内容に沿って資料を提示する。